



全国生協労働組合連合会
闘争情報1644号

2010年2月12日(金)

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-1-9

TEL 03-3408-0067・7695

<http://cwu.jp/>

変化をチャンスに！ 国民要求実現 2.12 中央行動

2月12日、パート・臨時労組連絡会主催で「2.12 中央行動」が東京で開催され、生協労連からは135人のなかまが参加しました。

早朝の池袋東口の宣伝行動では、ポケットティッシュを配布しながらアピール、あっという間に2,000個を配布しました。その後は、最低賃金の上げを求めて、国会議員への要請行動を実施。生協労連のなかま50人も参加し、リアルな職場実態や生活実態を交えながら、最低賃金引き上げの必要性を訴えてきました。12時から日比谷野外音楽堂で開催された「2.12 中央集会」には、7,000人が参加。14時半から国会請願デモ行進を行い、15時半からの「2.12 パート労働者の均等待遇を実現するための院内集会」にも参加して、10春闘で均等待遇実現に一歩でも近づいたたい息吹をしようと、参加者一同で決意を新たにしました。



旗開き学習会 & 交流会開催 コープいしかわ労働組合

1月30日、労組が「旗開き学習会 & 交流会」を開催しました。来賓の石川県労連・小林稔幹事からの連帯のあいさつの後、産業医の服部先生を講師に「コープいしかわグループにおける働き方と健康」と題した講演。服部先生は、「一般職員の時間外労働は以前は多かった(2005年には80時間超も毎月数人いた)が、最近は減少傾向である。食と生活の安全は生協の最重要価値であり、それを守る力は職員の安全・健康に対する意識であり、安全と健康に関する働き方の妥協は商品の妥協につながる」と話されました。

学習会では、生協労連関西地連の春闘方針や統一スケジュールの説明、関西地連春闘組合学校の参加者からの感想なども語られました。

要求提出全員団交へ結集を 生協労組おかやま

労組は、今春闘で物流改革をはじめとする雇用問題を最大の課題と位置づけています。また、生協労働者から貧困者を生みだしてはいけないと、生協内格差の是正、低下が懸念されるモチベーションを引き上げるために、労組として支援できる仕組みづくりなどを柱としています。要求(案)には、方針に基づき直接雇用政策への転換を促すために、『準社員制度』、非正規労働者の主たる生計者の手当の拡充などを新たに盛り込みました。

労組は、2月19日までに各職場で集会を開催し、日頃の業務や職場運営の中での疑問や不満、仕事の改善要求も含めて話し合うこと、特に配送センターの雇用問題では、雇用を守れの声を集めていくことを呼びかけています。